

土壌害虫殺虫剤

# ランダイヤ 粒剤

有効成分：ダイアジノン…3.0%，メソミル…1.0%

ネキリムシ類、キスジノミハムシ防除に。



ネキリムシ類



キスジノミハムシ(被害)



# ランダイヤ 粒剤

●医薬用外劇物

農林水産省登録  
第14640号

## ■特長

1. ランネートの速効性とダイアジノンのガス効果により、畑作の土壌害虫であるネキリムシ、コガネムシ類幼虫の防除に有効です。
2. 生育期散布により、土壌害虫と合わせて茎葉害虫の同時防除が可能です。

## ■適用害虫及び使用方法

作物名	適用害虫名	10アール 当り 使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	ダイアジノン を含む農薬の 総使用回数	メソミルを 含む農薬の 総使用回数	使用方法
はくさい	ネキリムシ類	4~6kg	は種時	1回	1回	2回以内 (は種時の土壌混和 は1回以内)	作条土壌混和
キャベツ			は種時、定植時及び 生育初期 但し、収穫30日前まで	2回 以内	2回以内	3回以内	
レタス			植付時	1回		2回以内 (植付時の土壌混和 は1回以内)	
リーフレタス						1回	
にんじん	ネキリムシ類	6kg	は種前	1回	2回以内 (は種前及びは種時 は合計1回以内、 生育期は1回以内)	2回以内 (は種前の土壌混和 は1回以内)	全面処理土壌混和
だいこん		キスジノミハムシ	4~6kg	は種時	2回以内 (生育期は 1回以内)	2回以内 (は種時の土壌混和 は1回以内)	作条土壌混和
いちご			植付時(仮植床)	2回以内		4回以内	土壌混和
かんしょ	コガネムシ類幼虫	6~9kg	植付時及び生育期 但し、収穫30日前まで	3回 以内	3回以内 (マイクロカプセル 剤の植付前の 処理は1回以内、 マイクロカプセル 剤の散布は2回 以内、粒剤の散布は 2回以内)	5回以内	植付時：作条処理 土壌混和 生育期：作条処理
	ハリガネムシ類	9kg	植付時 但し、収穫30日前まで	1回			作条処理土壌混和
	ハスモンヨトウ ナカジロシタバ	4~6kg	収穫30日前まで	2回 以内			
芝	スジキリヨトウ シバツトガ コガネムシ類幼虫 シバオサゾウムシ	6~10kg	発生初期	4回 以内	4回以内	4回以内	散 布

## ■使用上の注意

- はくさい、だいこん、いちごに使用する場合は、は種時または、定植時(いちごは仮植時)では播溝または植溝になるべく幅広く散布し土壌とよく混和してください。
- かんしょの植付時の処理の場合は、挿苗前に散布し、畦内の土壌とよく混和してください。コガネムシ類幼虫の防除に使用する場合は残効性が不十分なため、かんしょの生育後期にも必要に応じて作条処理してください。また、生育期処理の場合もなるべく作条処理後土壌と混和するか軽く覆土してください。
- 間引き菜、つまみ菜に使用しないでください。
- 散布の際は、危害防止のため、散布対象作物が人の胸の高さ以上の場合は使用をさげ、下に向けて散布してください、また防護マスク、手袋、長

ズボン・長袖作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔等を石けんでよく洗い、洗眼するとともにうがいをしてください。

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 高温多湿の長時間作業および疲労時の散布はさけてください、またハウス内など遮蔽された場所での使用はさけてください。
- 本剤の解毒法としては硫酸アトピリン製剤の投与が有効とされています。
- 魚毒性等…水産動植物(魚類、甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池などに飛散、流入しないよう注意し、空容器、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管…密封し、直射日光をさげ、食品と区別して、冷凍・乾燥した場所にカギをかけて保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出てください。

本資料は2014年6月現在の知見に基づいて作成されております。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

自然に学び 自然を守る

0963(14-6)